地　帯	地帯の特性	主な生息動物		
		哺乳類	鳥類	昆虫類
高山帯	標高約1,400メートル以上の地域	ホンドオコジョ	イワヒバリ カヤクグリ	ヒメクロオサムシ

［動物評価度］

本計画においては，主要な分類群である哺乳類，鳥類，昆虫類を対象として，生息分布状態の調査とその生息環境に対する評価を行った。この評価に当たっては，基本的には，動物相は植物を食相としているため，植物評価地域に生息する動物については，植物と同等の評価値を与えた。哺乳類については，高山などに限って生息する種，貴重な種，個体数の多少及び減少傾向，生息域の特性，生息域の広狭などを勘案のうえ評価度を与えた。

もとより，これらの動物群はその種類も多いことから，この調査と評価に当たっては，種の分布状態，生態的な特徴など，生物学的特性が比較的判明していて，自然環境の評価に有効と認められる種を主な対象とした。

哺　乳　類

哺乳類評価度	種類名	生息環境の特徴等
1	ドブネズミ類	ドブネズミ，クマネズミなどのその生息域は都市地域である。
2	ホンドイタチ	生息地域は広く，丘陵地帯，樹林，耕作地，人家周辺にも及ぶ。
3	ホンドタヌキ	本県の生息域はイタチに次いで広く，人家周辺にも生息する。
4	ニホンイノシシ ホンドキツネ	わが国における自然分布の北限である。 ホンドタヌキよりも生息域は狭い。
5	ホンドテン	生活環境が失われており個体数が減少の傾向にある。

動物の生
標高1,500メートル以上 ハイマツ，岩石地帯 ハイマツ地帯 高山地帯

(1) 哺乳類

県内には，大型獣のニ
獣のホンドオコジョや，
れの生息分布の資料の
備されている狩猟獣とニ
図を作成し，図を作成し

［哺乳類評価度］

哺乳類の評価に当たっ
種，個体数の多少及び減
した。

評　価　度　表

種の貴重性
狩猟獣
狩猟獣
狩猟獣 狩猟獣
狩猟獣